

おひさま



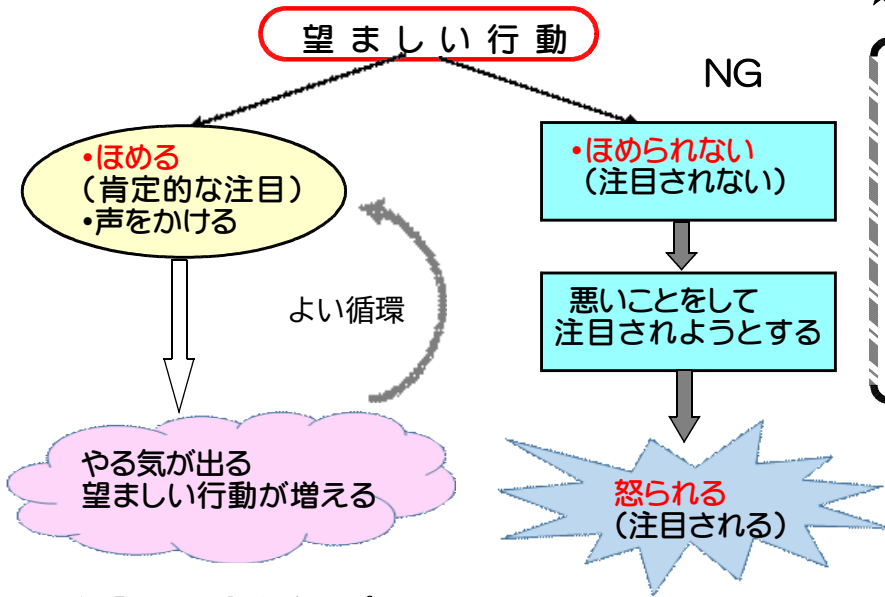
藤岡小学校

教育相談だより NO.6

令和3年11月12日

落葉の候、いかがお過ごしでしょうか。読書旬間には、親子で読書を楽しんだことと思います。読み聞かせをすることは、言葉や感性を豊かにすると同時に、親子の絆を強くするためにも大変有効だと言われています。今回は「**望ましい行動を増やすために**」というお話をします。

☆『ほめる』ことで生まれる、よい循環



☆『ほめる』ことで期待できる効果

- ・『ほめる』と子どもは、「認められた」と感じます。
- ・『ほめる』と子どもの望ましい行動が増えます。
- ・協力的になります。
- ・その結果、自然と望ましくない行動が減ってきます。



☆『ほめる』ときのポイント

タイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早くほめる。 ・パーフェクトではなく、25%でほめる。 ・プロセスをほめる、行動を始めた瞬間をほめる。 課題が完全に終わったときだけほめるのはダメ
視線・からだ	<ul style="list-style-type: none"> ・視線を合わせてほめる。 ・子どもに近づくか、子どもを呼んで、子どもと同じ目の高さでほめる。
表情	<ul style="list-style-type: none"> ・ほほえんでうれしそうな表情でほめる。
声の調子	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかで温かみのある声、明るい声でほめる。 ・気持ちがよい、うれしいと感じていることが伝わるようにほめる。
ことば	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージは短く、簡潔明瞭、肯定的にほめる。
行動をほめる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをほめるのではなく、行動をほめる。
効果的にほめる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの性格や感じ方、年齢に合わせたほめ方でほめる。 ・批判や命令の意味は込めない。(～はダメ、～しなさい NG)

☆子どもの協力を引き出す方法

協力できたら、ほめましょう。

- ・予告 「あと5分したら、終わりね。」「この番組が終わったら、テレビを消そうね。」
- ・選択 「おやつを先に食べる？それとも先に宿題をやる？」
- ・「～したら…できる」→やる気アップ 「片付けしたら、ゲームをやるうね。」

〈参考〉「ペアレント・トレーニング」(講談社) 上林靖子